

# 図書館報

第94号  
令和4年3月1日発行  
茨城県立境高等学校  
図書委員会

## 「村上春樹のすすめ」 校長 池田 聡



村上春樹の作品は教員になつてから読み始めました。(厳密に言うと大学生の時に一度挫折しています)。以下の三編が、国語の教科書に掲載されていたことがきっかけです。

### 『七番目の男』

七歳の時に台風による大波にさらわれた男。奇跡的に命は助かったが、失ったものは…。

### 『鏡』

主人公「僕」が体験した恐怖。鏡に映った自分を「僕以外の僕」だと感じ、さらにその鏡像に支配されるようになる…。

### 『待ち伏せ』

ティム・オブライエン(ベトナム戦争の体験を描くアメリカの小説家)「本当の戦争の話しよう」の翻訳。戦争被害者の視点と心の傷を描く。

それからしばらく村上春樹にはまりました。発表当時「100%の恋愛小説」というコピーが評判になった『ノルウェイの森』から始まり、「鼠3部作+1」と呼ばれる『風の歌を聴け』『1955年のピンボール』『羊をめぐる冒険』『ダンス・ダンス・ダンス』。長編小説では『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』『国境の南、太陽の西』『ねじまき鳥クロニクル』『スプラウト』の恋人『海辺のカフカ』『アフターダーク』『1Q84』。『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の旅』『騎士団長殺し』と続きます。『国境の南、太陽の西』は、大学入試の模擬試験でも出題されています。

村上春樹は「好き/嫌い」がはっきり分かれる作家のひとりです。独特な世界観の中に描かれる主人公の孤独や喪失感の表出、豊富な比喩、気の利いた警句(伊坂幸太郎にも通じる?)、政治・宗教・戦争などの重いテーマを自分に引き寄せてしまう力は特筆すべきものです(エルサレム賞受賞スピーチ『壁と卵』は感動のあまり印刷して机に貼っていました)。

一方、過度の性描写やパレルワールドによる非現実感、あるいは限定的な世界に共感できないなどという声もあります。

健全な精神を持つ高校生ならば、短編集から読み始めると良いかもしれません。私のおすすめは『カンガルー日和(「鏡」収録)』『螢・納屋を焼く・その他の短編』『パン屋再襲撃』『TVピープル』『レキシントンの幽霊(「七番目の男」収録)』『東京奇譚集』などです。

少し変わったところでは、村上春樹が小説を読む面白さを紹介した『若い読者のための短編小説案内』(文春文庫)があります。戦後日本の代表的な作家六人の短編小説を、村上春樹流に読み解きます。この本には小説の全文が掲載されていなかったのですが、私はこの作品の全文を読みたくて、六編の小説を方々探し回りました。大変苦労して手に入れたことを覚えています。コロナ禍のステイホームで、読書に勤しむこともアリには負けない、人間ならではの「創造力」「共感力」「メタ認知力」を、読書によって身に付けてほしいと思います。

### 図書館には村上春樹の本がたくさんあります!



### 図書委員長として

令和三年度図書委員長  
三年六組 吉村 颯泰



また、七夕やクリスマスにも皆さんに楽しんでもらえるよう、イベントを開き、例年よりも盛り上がるイベントを作ることが出来ました。足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございます。

僕はこの三年間で初めて図書委員会に所属し、図書委員長として活動しました。初めての図書委員で、頼りない委員長だったと思いますが、共に活動する仲間や先生方に支えられ、全うすることができました。図書委員会の主な活動は、昼休みと放課後の本の貸し出しと返却、「ふみごよみ」の発行です。さらに今年度は新たに最新のマンガや小説を図書館へ追加したり、ポスターのプレゼントイベントをやったりと皆さんに図書館へ足を運んでもらえるような活動を多くしました。

僕はこの三年間で初めて図書委員会に所属し、図書委員長として活動しました。初めての図書委員で、頼りない委員長だったと思いますが、共に活動する仲間や先生方に支えられ、全うすることができました。図書委員会の主な活動は、昼休みと放課後の本の貸し出しと返却、「ふみごよみ」の発行です。さらに今年度は新たに最新のマンガや小説を図書館へ追加したり、ポスターのプレゼントイベントをやったりと皆さんに図書館へ足を運んでもらえるような活動を多くしました。

### 図書部長より

「生徒や先生方が使いやすい図書館を目指す」事を転動してきた徳永先生と心がけてきました。一年生を中心に、放課後や昼休みの利用が増え、きたような感じがします。図書委員の生徒たちは、毎日、放課後の清掃と昼休み・放課後の図書館当番に来てくれました。時々、忘れてしまう者もいるの

ですが、これを書いている一月の頃には、皆が責任を持って仕事をやる図書委員会になってきました。さすが高校生。

貸し出し数も増えていますが、先生方の読書量の多さには本当にびっくりします。来年度は公開の文化祭があります。図書委員会としても何らかの形で参加できるといいと考えています。

最後に、全面的にサポートして下さった徳永先生・栗原先生、副委員長として支えてくれた西川君、図書委員のみなさんに心から感謝を。そして最後まで読んで下さった貴方。ありがとうございます。願わくば、本を閉じて見渡す世界で、貴方が笑顔でいられますように。

吉村君は、図書委員会の集会がある時には、一番最初に来て出席確認をしてくれました。気遣いの出来る生徒で、本当によくやってくれました。ありがとうございます。



図書委員会の様子♪

今年度も新型コロナの影響は大きいものでした。休校中の図書館は静かすぎ、やはり生徒たちが楽しそうに過ごす毎日が大切なのだと感じました。図書館でも、ソーシャルディスタンスを考え、毎日のアルコール消毒も怠らないようにしています。来年度こそ、もとの生活に戻ってほしいものです。